

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

| | |
|-------------------------------------|--|
| 名称：マジオたんぽぽ保育園溝の口ルーム | 種別：地域型保育事業（居宅訪問型保育事業除く） |
| 代表者氏名：大森 忍 | 定員（利用人数）：19名 |
| 所在地：〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸1-6-38 | |
| TEL：044-822-2212 | ホームページ： https://www.magionet.co.jp/tanpopo |
| 【施設・事業所の概要】 | |
| 開設年月日：2018年04月01日 | |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社マジオネット多摩 | |
| 職員数 | 常勤職員：8名 非常勤職員：4名 |
| 専門職員 | （専門職の名称）：名 |
| | 保育士：9名 子育て支援員：1名 |
| | 栄養士：1名 |
| 施設・設備 の概要 | （居室数） |
| | ほふく室1室 |
| | 乳児室1室 |
| | 保育室1室 |
| | （設備等） |
| | 事務室 |
| | 調理室 |
| | |

③理念・基本方針

| |
|--|
| <p><理念></p> <p>私たちは、誰もが幸せになれる未来を創造するために、保護者と一体となり、人間性豊かな子どもを育てることで、社会に貢献する。</p> <p><基本方針></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の気持ちを十分に表現できる環境を提供する。 2. 子どもの個を認め、受け止める。 3. 一人一人を十分に愛し、共感する。 4. 製作、音楽活動、生き物の飼育などを通して、感性を育む。 5. 保護者と一体となり、チャレンジできる場所、機会を与える。 6. 皆が理念、目標に賛同できるように、啓発し続ける。 <p><保育目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自ら考えて、創意工夫ができる子 2. 人を思いやれる心の優しい子 3. 自分を信じ、愛することができる子 4. 知的好奇心の旺盛な子 5. 挑戦できる勇気のある子 |
|--|

6. 皆が一体となり、社会に貢献できる子どもを育む

④施設・事業所の特徴的な取組

＜マジオたんぽぽ保育園溝のロルームの特徴的な取組み＞

- マジオたんぽぽ保育園グループで、月2回OJTを行い、連携園の保育を観察し合い、ディスカッションすることで、保育の質の向上を目指しています。
- 保護者が利用しやすいように、「手ぶらで保育」を推進しています。
- 保育活動の中では、小規模ではありますが、「英語遊び」を行い、小さいうちから英語に触れ、楽しみながら英語に関わっています。
- 週2回「音楽広場」を開き、様々な楽器に触れ、楽しみながら音楽に興味を持てるような取組みを行っています。

⑤第三者評価の受審状況

| | |
|---------------|---|
| 評価実施期間 | 2021年07月07日（契約日）～ 2022年01月13日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 初回（年度） |

⑥総評

【マジオたんぽぽ保育園溝のロルームの概要】

●マジオたんぽぽ保育園溝のロルームは、株式会社マジオネット多摩（以下、法人という）が運営する、定員0歳児6名、1歳児6名、2歳児7名の合計19名の小規模認可保育園です。法人は、「利他の心」という理念の下、時代のニーズに即したきめ細やかな子育て支援サービス事業を展開しており、現在、東京・神奈川で9園の保育園の運営を行っています。法人は、共働き世帯の増加や核家族化・ライフスタイルの多様化等、子育て環境が大きく変化する時代において、次世代を担う子どもたちの、健やかな成長を温かく育てていくことが使命と考え、社会に貢献しています。マジオたんぽぽ保育園溝のロルームは、東急田園都市線「溝の口駅」、JR南武線「武蔵溝ノ口駅」を利用し、徒歩8分と駅近であり、電車通勤の保護者にも大変便利な場所に位置しています。

●マジオたんぽぽ保育園溝のロルームは、乳児保育、産休明け保育、障害児保育、延長保育を実施し、他、独自のカリキュラムの英語、音楽活動を提供しています。保育理念に、「私たちは、誰もが幸せになれる、未来を創造するために、保護者と一体となり、人間性豊かな子どもを育むことで、社会に貢献する。」と掲げ、保護者も子どもも安心して通える、地域に根ざした保育園を目指しています。アットホームな雰囲気の中で、子ども一人ひとりの個性を大切にしながら、きめ細やかに愛情を持って子どもたちを育てています。

◇特に評価の高い点

1. 【子ども一人ひとりに寄り添った保育】

●マジオたんぽぽ保育園溝のロルームは、子ども一人ひとりに寄り添った保育を実践しています。0歳児の保育では、0歳児の成長速度、月齢等による個人差が大きい時期を考慮し、子どもの発達を理解して子ども一人ひとりと丁寧に関わっています。保育では、0歳児の月齢が高い子どもは1歳児の子どもと一緒に遊び、月齢の低い子どもは保育士と一緒にいる時間を作る等、子ども一人ひとりの成長に合わせて対応しています。保育士は、愛着関係の構築を基に、すぐに手を貸すのではなく声かけをしながら成長を育む保育を心がけています。1歳、2歳児については、子どもの意志を十分に尊重し、自分でやろうとする気持ちを大切に、時間がかかったとしても急かさずに見守り、気持ちに寄り添いながら穏やかに援助しています。

2. 【信頼関係の構築】

●マジオたんぽぽ保育園溝のロルームは、小規模認可保育園の良さを生かし、保護者と厚い信頼関係を構築しています。利用者アンケート結果では、「子ども一人ひとりのことをしっかりみてくれている」等、信頼を寄せるコメントが多く挙がっています。保育サービスに関するアンケート項目において、「保護者に対する職員の対応や態度」について、「どの職員も同じように保育をしてくれている」、「おさんは保育園で楽しく過ごしている」、「保育園の総合的評価」の各項目について、「満足」、「概ね満足」を合わせると100%満足という結果になっています。特に、「職員はおさんを大切にしてくれていますか」では、満足度100%を得ています。前項での「子ども一人ひとりに寄り添った保育」を実践している証として保護者からも評価を高く得られています。また、園内での職員間の協力関係、園長と職員との良好な関係も調査訪問時の職員面談で確認ができており、園全体の良好な関係が子どもへの思いやりある保育へとつながっており、保護者も安定した保育園として信頼を持って預けていることがうかがえます。

3. 【「手ぶら保育」の推進】

●マジオたんぽぽ保育園溝のロルームでは、「手ぶら保育」を実施しています。「手ぶら保育」とは、「手ぶらでの登降園」ことを称し、午睡時のシーツ・タオルは年度当初（4月）に一度園に持っていくと、園でシーツ・タオルを洗濯し、保護者への負担軽減に配慮しています。オムツに関しても、名前を記載したオムツパックを持参し、無くなる事前に保護者へ連絡をして補充してもらうようにしています。法人のねらいとして、「手ぶら保育」で保護者が手間暇をかける時間・余裕のできた時間を、親子で有意義に過ごしてもらいたいという「ゆとり」を提供しています。そして、通園への負担を減らし、保護者の余裕の笑顔を子どもに向けられるよう支援しています。

◇改善を求められる点

1. 【法人と園の連携】

●法人としての令和3年～5年の中・長期計画を策定し、月1回開催される法人系列のグループ園長会議で報告を受け、園での会議で振り返りを行っていますが、具体的に各項目を細分化して工程管理を行うことが望まれ、さらに、法人の中・長期計画をマジオたんぽぽ保育園溝のロルームの中・長期計画として、内容を課題解決に向けた年度ごとの具体的な内容にしていく工夫が望まれます。単年度計画では、中・長期計画の内容を今年度事業計画に落とし込んだ計画、行事計画、指導計画へ取り組みを行っていますが、今年度事業計画に落とし込んだ計画については、各実施項目の工程管理と評価・反省を行うことが期待されます。また、事業計画の策定では法人の意見と現場の意見に多少温度差が見取れますが、今後、保護者からの意見、職員の参画を取り入れながら事業計画を策定していかれることを期待いたしております。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：マジオたんぽぽ保育園 溝のロルーム

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

会社に関することは分からないことが多く戸惑っていた。自分たちの仕事（保育）に関しては、日々行っていることなのでスムーズに行えたが、質問の意味・意図が分かりづらい部分もあった。

「評価」と聞くと仰々しく感じたり、ドキッとしたりしますが、普段行っていることを振り返りながら、また、自分の行動を思い浮かべながら取り組めたと思います。何年かに一度でもこのような評価や審査があることで、職員も気が引き締まり、今後の保育への意欲やモチベーションにつながれば良いと思いました。

<評価後取り組んだ事として>

1. 保育方針、保育目標が十分に周知されていない様子だったため、保護者の目に付くところへ掲示すると共に、お便りにも載せるようにした。
2. コロナ禍のため、懇談会等の意見交換の場が不十分だったが、次年度の予定に入れ、保護者にも説明をしている。
3. ケガ等の説明不十分については、口頭で伝えることと共に、その後の様子や経過観察等を保護者同士で連携をしっかりとれるように話し合いをした。

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり